

Ⅲ. 平成25年度活動計画(案)について<協議>

1. 方針

- ①修学旅行の教育性の充実、安全性の確保、経済性の適正化を追究し、より良い形の修学旅行の実施を目指す。
- ②連合体輸送の望ましいあり方について研究を深めるとともに、利用の拡大を図る。
- ③関係機関・団体と連携・協議し、望ましい修学旅行の条件整備を図る。

2. 活動のねらい

平素と異なる環境の中で多様な体験を通して、修学旅行のねらいの達成や生徒の社会性・人間性の育成を図り、感性を育む修学旅行の展開を目指す。

3. 活動の大綱

(1) 会議等の日程案

	会議名	予定内容	開催日	時間	会場
総会・研究協議会	総会・第1回	年度計画の審議、決定	6月3日(月)	13:30～ 15:30	東京文化会館
	第2回	輸送申込状況、輸送作成基準等の確認他	10月3日(木)		
	第3回	輸送計画の確認・微調整と決定	11月5日(火)		奈良まほろば館
	役員代表者会	年間活動の総括と次年度大綱検討	2月14日(金)		東京文化会館
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月27日(木)		
研究委員会	第1回	調査研究内容の検討	6月3日(月)	11:00～ 12:30	東京文化会館
	第2回	データの分析・考察	10月3日(木)		奈良まほろば館
	第3回	データの分析・考察、まとめ	11月5日(火)		
	第4回	年間活動の総括と次年度計画	2月27日(木)		東京文化会館
第49回研究発表会		実践研究発表等	11月22日(金)	13:30～ 16:30	水戸市・レイクビュー水戸
全修協	第30回全国修学旅行研究大会 (修学旅行の理論・研究実践発表、シンポジウム)		7月30日(火)	13:30～ 16:30	東京・グランドヒル市ヶ谷
	三地区(関東・東海・近畿)修学旅行委員会連絡会 (修学旅行に関する意見・情報交換)		平成26年 1月23日(木)	14:00～ 16:00	滋賀県大津市

<会議出席>

- ・ 役員代表者会(各県2名、定数11名): 役員、各県委員長(部長)、研究委員長
- ・ 総会・研究協議会(各県4名、定数22名): 役員、運営委員、研究委員
- ・ 研究委員会(各県2名、定数10名): 研究委員、運営委員1名兼務
- ・ その他政令指定都市校長会(さいたま市、千葉市)から役員1名参加。

<県別分担事項一覧>(平成25年度～29年度)

	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
会長選出県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県
運営委員長	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県
〃副委員長	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県	茨城県
研究委員長 研究発表県	茨城県	栃木県	群馬県	千葉県	埼玉県

(2) 連合体計画輸送

1) 平成 25 年度計画輸送の実施

平成 25 年度修学旅行専用列車の申込み状況

(単位：校、人)

コース	茨城県		栃木県		群馬県		埼玉県		千葉県		合計		対前年 増 減
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	
A	40	5,765	86	11,756	19	1,644	207	35,005	125	19,674	477	73,844	3
B	82	10,137	18	1,453	15	788	47	5,408	22	2,646	184	20,432	-2
C	0	0	0	0	0	0	52	8,845	45	7,958	97	16,803	-7
D広島	1	148	10	1,201	0	0	1	169	2	336	14	1,854	14
秋季C	0	0	0	0	0	0	15	3,110	0	0	15	3,110	1
合計	123	16050	114	14410	34	2432	322	52537	194	30614	787	116043	9
東北	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-1
山形	0	0	0	0	0	0	0	0	1	190	1	190	-3
秋田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
長野	0	0	0	0	0	0	0	0	5	508	5	508	1
上越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	6	698	6	698	-3
総合計	123	16050	114	14410	34	2432	322	52537	200	31312	793	116741	6
対前年	1	-194	1	370	2	255	1	118	1	489	6	1,038	

② 割付け日程

1) コース別設定期間(出発日ベース)・人数・日数

A	B	C	D	東北・山形	長野
5/8～7/8 61日間 73,844名 1日平均1,211名 1日最大1,242 1日最少1,119	5/28～6/15 18日間 20,432名 1日平均1,136名 1日最大1,172 1日最少992	春 5/8～6/25 45日間 16,803名 1日平均374名 秋 9/12～9/25 11日間 3,110名 1日平均283名	5/15～6/24 14日間 1,854名 1日平均133名	5/22 1日間 190名 1日1校	5/15～6/5 4日間 508名 1日平均 127名

2) 平成 25 年度出発式(関東地区公立中学校修学旅行出発式)

・日時—平成 25 年 5 月 8 日(水) 午前 7 時 25 分～7 時 35 分

・7 時 47 分東京発「のぞみ号」乗車校

- ・習志野市立第五中学校・鎌ヶ谷市立第五中学校・印西市立木刈中学校
- ・白井市立七次台中学校・千葉市立白井中学校・柏市立柏第四中学校
- ・市原市立姉崎中学校・松戸立第二中学校 の 8 校

* 関修委を代表しての挨拶は、埼玉県修学旅行対策部長の守屋校長先生が行いました。

3) 計画輸送の利用校拡大

平成25年度も引き続き、組織・活動への理解を得るため、関修委PR用リーフレットをもとに各学校への啓発に努める。

4) 平成27年度修学旅行の計画輸送策定

計画輸送（連合体）の理念、必要とされる理由を徹底し、各校が協力し合い全ての中学校が円滑に修学旅行を実施できるように。

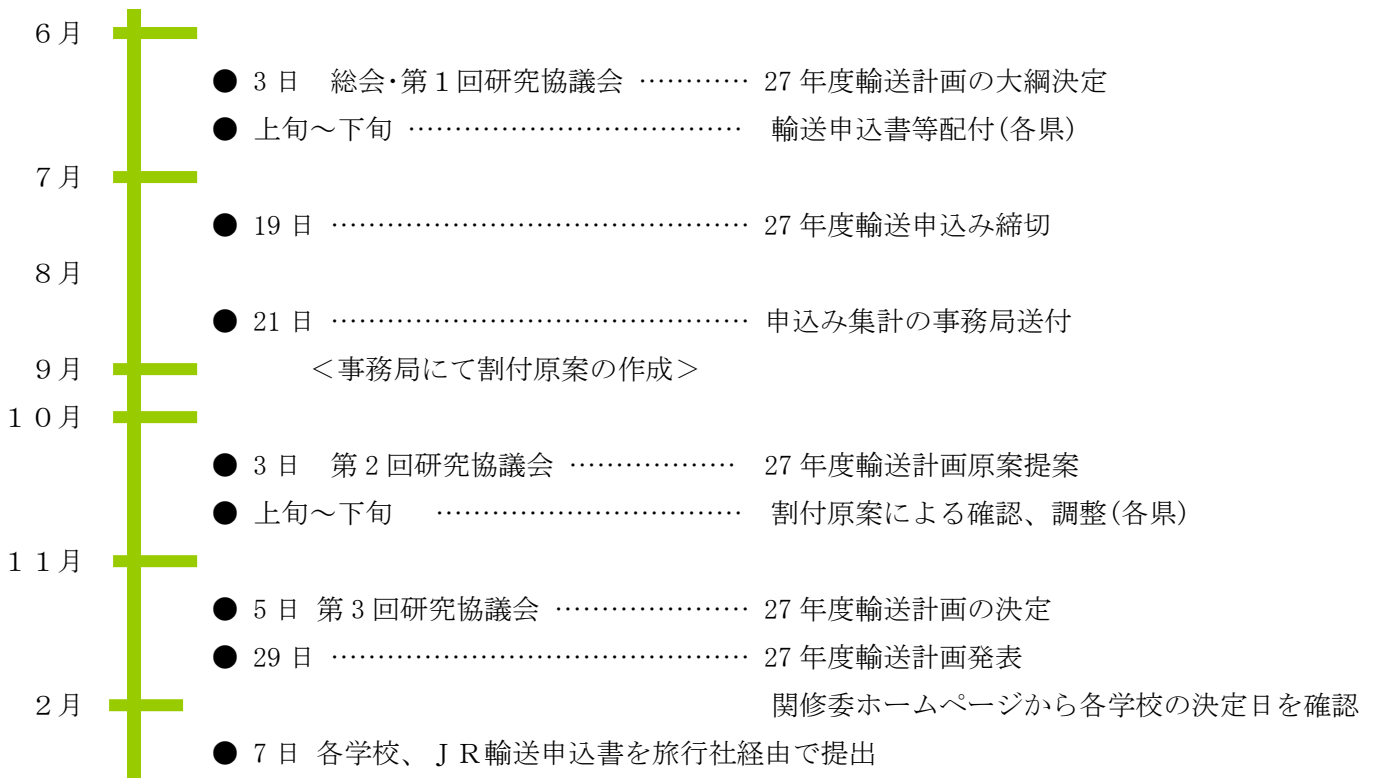
ほとんどの学校が5月中旬実施を希望→関修委の役割一平準化。

- ①Aコース希望で、東京近郊の学校は、出来るだけCコースへ
- ②東京都、神奈川県中学校長会が走らせている専用列車と関修委の専用列車の相互利用の可能性を探り、JRへ働きかける。
- ③Bコースを魅力あるものにするための方策を研究する。
- ④利用申込みの段階で、東京駅までの継走を明確にする。
- ⑤東北、上越、長野方面の新幹線利用の拡大を図る。
- ⑥広島修学旅行列車の設定に伴い、引き続きPRに努める。

*東京発の時間帯の繰り上げについて、JRへ継続して交渉する。

- ⑦申込み書の記入—乗車駅・降車駅、継走の利用予定等、丁寧に記入を。

◎割付け・組み合わせから発表までの手順



5) その他

(3) 研究調査活動

1) 研究調査の継続と充実

2) 第49回修学旅行研究発表会の開催

- ・日時 平成25年11月22日(金) 13時00分～16時10分
- ・会場 ホテル レイクビュー水戸(公立学校共済組合の施設)
水戸市宮町1-6-1 Tel.029-224-2727

3) 現地視察会

修学旅行の充実のために先生方の現地視察・研修を重視する。

- ①東北方面修学旅行現地研修会—震災後の現状を知る。世界文化遺産に触れる。
- ②神戸市修学旅行現地研修会—引き続き継続する—防災・震災教育の必要性の高まり

- ①東北方面修学旅行現地研修会 平成25年8月18日(日)～8月20日(火)
- ②神戸市修学旅行現地研修会 平成25年8月9日(金)・8月10日(土)

※ 各県からそれぞれのコースに2名以上の参加をめざす。

4) 修学旅行資料「関西の旅」の利用推進

関東地区公立中学校修学旅行委員会の編集・監修による「関西の旅」の利用促進を図る。
各学校の修学旅行のしおりと共に製本する方法も可能であり、併せてPRする。

5) その他

(4) 陳情・要請活動

1) 平成26年度修学旅行費等の国庫補助金増額陳情

平成25年度修学旅行費等の国庫補助金の決定額(単価・円)

行事	学校種別	25年度決定額	要望額	
修学旅行	中学校	55,700	55,900	
	小学校	20,600	20,800	
校外学習	中学校	宿泊あり	5,840	5,940
		宿泊なし	2,180	2,280
	小学校	宿泊あり	3,470	3,570
		宿泊なし	1,510	1,610

2) 計画輸送に関する改善要望

重点要望

- ①東京駅までの継走特急列車の割引をお願いしたい。
- ②各駅の団体客の集合待機場所の確保をお願いしたい。
- ③専用列車広島便の定員増をお願いしたい。

3) その他

(5) 他団体との連携

1) 公益財団法人全国修学旅行研究協会との連携

第30回全国修学旅行研究大会

平成25年7月30日(火) ホテルグランドヒル市ヶ谷

「学びの集大成を図る修学旅行」

—被災地復興への継続的支援—

2) 関東・東海・近畿三地区公立中学校修学旅行連絡会の参加

○平成26年1月23日(木) 近畿地区、滋賀県

(6) その他

- 1) 情報・資料の提供・発信
- 2) 関修委・全修協のホームページの活用。
- 3) 各県と事務局とのEメールの活用推進。

4. 予 算

(1) 平成25年度支出予算案

(円)

科 目	費 目	予算額	前年予算額	増・減(△)	摘 要
会 議 費	総会・研究協議会 ・研究委員会	650,000	650,000	0	会場費、交通費
	研究発表会	600,000	600,000	0	会場費、設営費、資料作成 費、反省会費
旅費交通費	事務局交通費	113,900	142,100	△28,200	出張交通費
通信運搬費	通信運搬費	50,000	50,000	0	会議案内、資料送付等郵便・ 宅急便料金
印刷製本費	印刷費	300,000	270,000	30,000	輸送計画関係書類、調査研 究関係印刷物
助 成 費	各県活動運営費	786,100	787,900	△1,800	各県修学旅行委員会助成金
支出合計		2,500,000	2,500,000	0	

(2) 各県修学旅行委員会(部)への活動助成金

関修委より、各県修学旅行委員会(部)の活動運営費(会議費、郵送・通信費、事務費等)の一部として助成する。なお、各県は助成金の支出報告を毎年度行うものとする。

ア. 県助成金算出基準

算出式 定額(全設置校対象)100,000円 + (連合体参加校数×300円)

※研究発表県には、50,000円を調査研究費としてプラスする。

※連合体参加校数は24年度第4回研究協議会開催日時点(26年度計画校)の校数。

(校、円)

県 名	定 額 (A)	連合体校数	利用校金額 (B)	研究発表県 調査研究費 (C)	助成金額合計 (A) + (B) + (C)
茨城県	100,000	121	36,300	50,000	186,300
栃木県	100,000	112	33,600	—	133,600
群馬県	100,000	35	10,500	—	110,500
埼玉県	100,000	321	96,300	—	196,300
千葉県	100,000	198	59,400	—	159,400
合 計	500,000	787	236,100	50,000	786,100

5. その他

定例研究協議会での「講話」について

- | | | |
|-----|---------------------|-----|
| 第1回 | 「修学旅行の受け入れと東北の観光行政」 | 東北 |
| 第2回 | 「つくば学園都市といばらきの魅力」 | 茨城県 |
| 第3回 | ～J Rとの意見交換会～ | |
| 第4回 | | |
- (第4回は検討中)

IV その他

- 1) 関修委専用 E-mail アドレス。メールの活用を図る。
- 2) その他